

目 次

1. はじめに	8-1
2. 質量分析法の応用	8-2
2.1. 農薬の多成分一斉分析	8-2
2.2. プロテオーム解析	8-3
3. 気相分子のイオン化	8-4
3.1. 電子イオン化法 (EI)	8-4
3.2. 化学イオン化法 (CI) と反応イオン	8-4
3.3. 大気圧化学イオン化法 (APCI)	8-5
4. 液相分子の噴霧イオン化	8-6
4.1. 静電噴霧現象とイオン化	8-6
4.2. ESIにおけるテイラーコーンの形成	8-6
4.3. 帯電液滴のサイズ	8-7
4.4. Rayleigh分裂	8-8
4.5. 電荷残留モデル	8-9
4.6. イオン蒸発モデル	8-9
4.7. 分子の表面活性とイオン化	8-10
4.8. ソニックスプレーイオン化法 (SSI)	8-10
4.9. ガス噴霧支援ESIイオン源	8-12
5. 固体分子の脱離イオン化	8-13
5.1. レーザー脱離イオン化法	8-13
5.2. マトリックス支援レーザー脱離イオン化法 (MALDI)	8-14
5.3. 固体表面からの脱離過程	8-14
5.4. 脱離におけるイオン化過程	8-15
5.5. Delayed Extraction	8-16
参考文献	8-16